

重点施策 安全安心な学校づくりの推進	評価実施者	所 属	学校教育課
	職・氏名	課長 高田 和昌	

重点施策の概要	目 的		学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習、生活の場であるとともに、災害時には地域の避難場所でもあることから、安全で安心な学校教育環境の整備・充実を図る。					
	今年度の主要事業		①小・中学校改築等施設整備の推進(滝川第三小学校改築事業、滝川第二小学校屋内体育館耐震補強事業、西小学校屋内体育館耐震補強事業、江陵中学校トイレ改修事業) 事業費1,935,537千円 ②学校給食施設について、親子方式による施設整備の推進					
事業の目標と実績	区 分			単位	H24	H25	H26	特記事項
	1	耐震化率	目標	%	100.0	100.0	100.0	滝川第三小学校改築工事、滝川第二小学校屋内体育館耐震補強工事、西小学校屋内体育館耐震補強工事
			実績		66.7	78.6	90.0	
	2	トイレ改修(エコ改修率)	目標	%	100.0	100.0	100.0	江陵中学校トイレ改修工事、(滝川第三小学校改築工事)
			実績		44.1	65.2	86.3	
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					
	5		目標					
			実績					
	6		目標					
			実績					
	7		目標					
実績								

事業の分析 効果の検証	①児童生徒の安全を守り良好な教育環境の確保を図るため学校施設の耐震化は責務であり、改築工事や耐震補強工事を行うことは急務である。改築事業等の実施により安全で安心な学校施設の整備が図られた。 ②改築事業やトイレ改修工事の実施により、快適なトイレの整備が図られた。 ③江陵中のトイレ改修工事については、平成27年度施工予定の工事を前倒しすることができた。 ④給食施設整備は、滝川第三小学校共同調理場の建築工事が完了し、平成27年度から滝川第一小学校及び明苑中学校への親子方式を実施している。また、平成27年度に建築工事の着工を予定している西小学校共同調理場の実施設計を行った。
課題	①児童生徒の安全性の確保から早期の耐震化が必要であり、今後も校舎等及び非構造部材の耐震化を進める。 ②給食施設の整備・改修については、滝川第三小学校以降の予算の確保に努め計画的に進めていく。

評価	A	評価の視点1 期待どおりの効果があったか 計画どおり改築事業を実施し、安全安心な学校施設の整備を進めることができた。江陵中のトイレ改修工事については、計画を前倒して整備を進める事ができた。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか 児童生徒の安全性の確保から、学校施設の早期の耐震化及び給食施設の整備が必要であり、財源を確保しながら計画的に進めていく。
----	---	---

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
 B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
 C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
 D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	平成22年2月に策定した「滝川市小・中学校施設整備方針」及び平成23年12月に策定した「滝川市学校給食施設整備方針」に基づき、計画的・効率的に耐震化工事や改築・大規模改修と学校給食施設の整備を行い、平成27年度までに全小中学校施設の耐震化を完了する。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☒ 継続
-----------	---

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	特になし
---------------	------